

尿路結石による閉塞性腎盂腎炎の治療法に関する多施設共同研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

尿路結石による尿路閉塞を伴う急性腎盂腎炎は、20～37%の患者さんが敗血症となり、そのうち0～3%の患者さんが死に至る病気です。このため、適切な抗菌薬の投与と有害な物質を迅速に体外へ排出することが重要とされています。しかし、各医療機関治療・管理が不十分なケースが疑われる状況です。本研究では、全国済生会泌尿器科医会に参加している複数の医療機関の治療データを集めて治療成績など臨床的検討を行い、今後の尿路結石による閉塞性腎盂腎炎の治療法の向上を目指します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究実施体制

代表研究機関	済生会川口総合病院	泌尿器科	橋本恭伸
共同研究機関	済生会横浜市東部病院	泌尿器科	石田 勝
	済生会宇都宮病院	泌尿器科	戸邊豊総
	済生会川口総合病院	泌尿器科	橋本恭伸
	済生会加須病院	泌尿器科	小林 裕
	済生会松阪総合病院	泌尿器科	金原弘幸
	済生会野江病院	泌尿器科	河 源
	済生会富田林病院	泌尿器科	畑中祐二
	済生会山口総合病院	泌尿器科	大場一生
	香川県済生会病院	泌尿器科	菅本隆雄
	済生会滋賀県病院	泌尿器科	瀧本啓太
	龍ヶ崎済生会病院	泌尿器科	白岩浩志
	千葉県済生会習志野病院	泌尿器科	三上和男
	済生会新潟病院	泌尿器科	車田茂徳
	済生会吹田病院	泌尿器科	中村晃和
	山口県済生会豊浦病院	泌尿器科	上領頼啓
	済生会熊本病院	泌尿器科	渡邊紳一郎
	京都済生会病院	泌尿器科	稲葉光彦

研究の対象となる方

2018年1月～2022年12月に当院で尿路結石による閉塞性腎盂腎炎の治療でドレナージ術（有害な物質を体外へ排出する手技）を受けた方

使用する試料・情報

- ① 年齢、性別、身長、体重、パフォーマンスステータス、意識障害の程度、基礎疾患
- ② 結石の状態：部位、大きさ

- ③ ICU入室の有無、SIRS, DIC, SOFA, 血液培養、尿培養、抗生剤の詳細、昇圧剤の種類、透析の有無、血液生化学データ
- ④ ドレナージの施行日、種類
- ⑤ 術後因子：ICU在室日数、術後在院日数、解熱期間、術後合併症、死亡の有無
- ⑥ 治療時期

使用開始予定日：2025年2月13日

研究予定期間

2025年2月13日～2026年5月31日

個人情報の取り扱い

本研究では、研究実施許可日より、研究代表機関である済生会川口総合病院へ情報提供を行います。当院からの情報提供の際に、氏名等を削除し、個人が特定できないよう加工するため、患者さんのプライバシーは守られます。この研究の成果は学会等で発表予定です。

[研究の情報管理責任者] 泌尿器科 渡邊紳一郎

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 泌尿器科 渡邊紳一郎、三上 洋 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	--